



夏の猛暑の影響を受けながらも進むリンゴ収穫作業(花南地区内)

億円を認定

一般会計総額は481億円

平成21年度の一般会計と10件の各特別会計、上水道事業会計それぞれの決算の認定について、原案のとおり可決しました。一般会計の歳入決算額は481億92万円で、歳出決算額は469億3735万7970円、10件の特別会計の歳入決算額は278億3884万円で、歳出決算額が271億6940万円、上水道事業会計の収益的収支における収

平成22年第3回花巻市議会定例会(9月定例会)が、9月3日に招集され、9月27日までの25日間の会期で開かれました。この定例会では、平成21年度各会計決算や花巻市過疎地域自立促進計画の策定、花巻市職員の育児休業等に関する条例の一部改正、平成22年度補正予算など市長提案案件のほか、議員発議による意見書案1件の審議を行いました。また、11人の議員が登壇し、市政について一般質問を行いました。

入額は20億8237万円で、支出額は19億7424万円、資本的収支における収入額は8億9314万円で、支出額が15億655万円となりました。また、一般会計と各特別会計の決算額については、左の表のとおりです。なお、決算審査のために設置された決算特別委員会における質疑の内容は、7ページから9ページまで掲載しています。

反対

〔櫻井 肇 議員〕
一般会計に反対する。不況による地域経済と市民生活の疲弊は、市税が前年度比で3億3000万円の減となっていることに、市民の暮らしが圧迫されている現実が本決算に色濃くあらわれている。市政と投資効果に疑義があることから反対する。

賛成

〔中村勝吉 議員〕
一般会計に賛成する。厳しい経済情勢から税収が落ち込む中であって、将来展望に立った各般にわたる施策を展開するなど、将来の本市の発展に向けて積極果敢な行政運営がなされている。市長はじめ市当局の努力を多とし、一般会計決算の認定に賛成する。

討論

〔照井明子 議員〕
国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、花巻市介護保険特別会計、花巻市上水道事業会計に反対する。国保税は平成21年度に均一化され負担増となったこと、後期高齢者医療制度は廃止すべきであること、介護保険料は負担増対策を講じるべきであること、上水道会計は花巻地域が2.9%の負担増となることから同意できないものではない。

平成21年度決算

歳出総額741

会計別の決算額(歳出)

会計名	歳出決算額
一般会計	469億3735万7970円
特別会計	
国民健康保険	94億2790万8049円
老人保健	1749万627円
後期高齢者医療	16億3109万1806円
介護保険	77億2686万194円
簡易水道事業	3億4908万5347円
石鳥谷東部営農飲雑用水施設事業	2214万1814円
老人保健施設事業	3億1407万1996円
公設地方卸売市場事業	5434万6547円
下水道事業	51億8871万371円
農業集落排水等汚水処理事業	24億3769万3093円
合計	271億6939万9844円
総計	741億675万7814円

過疎地域自立促進計画を策定

花巻市過疎地域自立促進計画の策定に関し議決を求めることについて、原案のとおり可決しました。

本計画は、過疎地域自立促進特別措置法の規定により過疎地域とみなされる大迫および東和地区の整備を図るため策定されたものです。計画期間は、平成22年4月1日から平成28年3月31日までの6年間です。

条例改正

育児休業等に関する条例の一部改正

花巻市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について、原案のとおり可決しました。本改正は、地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正に伴い、職員の配偶者の就業の有無や育児休業の取得の有無にかかわらず育児休業を取得することができるようであり、再度の育児休業が取得できる期間や特別の事情の規定を整理したものです。本条例は、平成22年10月1日から施行となります。

